団体戦 応援方法に関する取り決め

【コート隣接のベンチ席】

- ラリー中は着席してください。
- 集団での応援（コール等）はラリーで勝った方のみとします（ただし、インターバル中はその限りではありません）。
- ラリー終了直後は、立ち上がって応援することを認めますが、コート内には入らないでください。また、試合中に「コート周囲を動き回る」「寝そべる」「踊る」「相手を冒涜する言動」など、不品行な応援行為は禁止します。ただし、勝敗決定の瞬間（試合終了時）における、喜びや悔しさから生じる自然な感情表現（寝転ぶ、倒れ込む、選手に駆け寄るなど）を制限するものではありません。
- ラリーが開始される前には着席してください。また応援はサーブ開始を妨げないものとし、サーブが開始される前には速やかに応援は止めてください。
- 鳴り物や応援グッズは使用不可とし、拍手のみとします。

【コーチ席】

- ベンチ席とは位置づけが異なります（応援席ではありません）。ベンチ席のように立つなどして応援はできません。
- マッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。長ズボン・シューズ着用とし、短パンやスリッパでのコーチは認められていません。

【観客席等での各大学の応援】

- 集団での応援（コール等）はラリーで勝った方のみとします（ただし、インターバル中はその限りではない）。応援の際は立たず、常に着席での応援としてください。
- 応援グッズは、スティックバルーン、うちわは使用可能です（それ以外、不可）。

〇ベンチ席およびコーチ席の取り扱い

- ベンチ入りできる者は登録されたチーム構成員（部長・顧問・監督・主将・主務 各 1 名、コーチ 4 名まで、選手 4〜14 名）のみです。チーム構成員数が準備されたベンチ席数を上回る場合はベンチ席数を限度とします。
- コーチ登録は、チームにおいてコーチ職として雇用・所属している者（有給・無給を問わない）を対象とします。学生コーチの場合は、日頃より選手として活動・試合出場していない部員とし、応援の増員を目的とした選手のコーチ登録は認めません。（※2027 年度より施行）
- ベンチ席およびコーチ席に出入りできる者は、必ず日本バドミントン協会登録が必要です。部長・顧問は、必ずしも協会登録を求めるものではありませんが、ベンチに入られる場合は協会登録が必要です。
- ベンチ席およびコーチ席での電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用や動画撮影は認められていません。

※ 応援方法について注意を受けたにも関わらず改善が見られない場合は、応援を制限する場合があります。

※ 大会はインターネットでも配信されています。所属大学の品位、そしてバドミントン競技の品位を損なうことのないよう、節度とマナーを守った応援を心がけてください。

（令和 8 年 10 月 25 日 全日本学生バドミントン連盟）